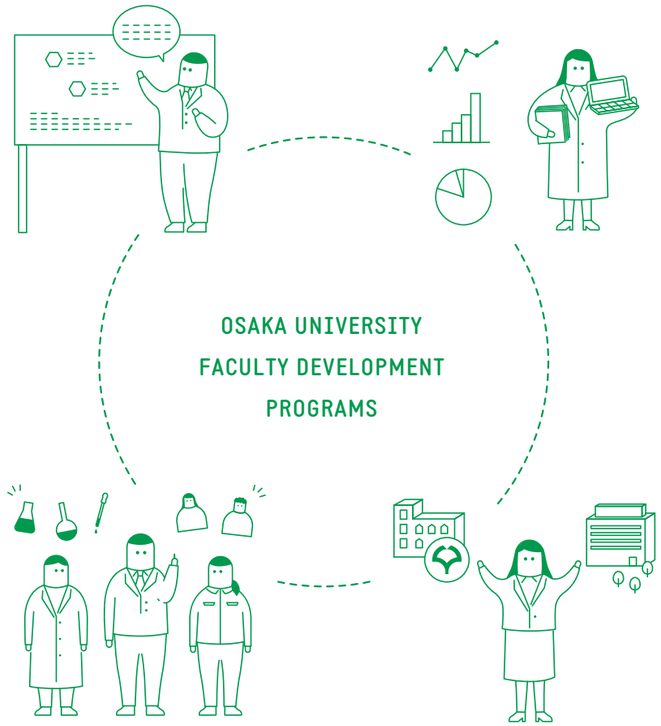
大阪大学教員のための

ファカルティ・ディベロップメント プログラムガイド



2020 年度

4 月～ 9 月

お問い合わせ先

各FDプログラムの詳細については、
開催部局にお問い合わせください。

大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

発行元

大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部
〒560-0043 豊中市待兼山町 1-16 豊中キャンパス
全学教育総合棟 II 4 階 417
http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/

大阪大学 全学教育推進機構
教育学習支援部

目次

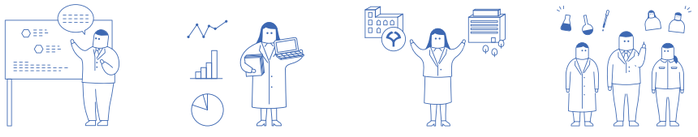
メッセージ …… 3

概要 …… 4

研修プログラム一覧 …… 6

プログラム詳細

- 教育能力開発プログラム …… 8
- 研究能力開発プログラム …… 16
- 社学連携能力開発プログラム …… 18
- マネジメント能力開発プログラム …… 19



大阪大学教員の皆様へ

近年、大学はさまざまな「改革」を社会から求められています。その中でもとりわけ重要なことは、高等教育機関としての大学が優れた人材を育成し、社会に貢献していくことです。そのためには、教育を担う立場にある教員に高い教育・研究能力を備えることが必要であります。

本学は、2017 年 10 月以降新たに採用された教員に対して、教育や研究に関する 30 時間の研修プログラムの受講を必須化しております。この取り組みは、大学の社会に対する説明責任を果たすとともに、本学の各教員に、教員として必要となる能力を身につける権利を保証するものです。

もとより本プログラムガイドに掲載されているセミナーや研修自体は、新任教員だけではなく、全教員を対象として設計されています。本学の教育、研究、社学連携、マネジメントすべての領域で高いパフォーマンスを発揮するため、できるだけ多くの教員の皆様にご参加いただきたいと考えています。

新任教員の皆様へ

本学では、従来から教育指導・学習支援・学生支援能力の向上を図り、質の高い教育・学生支援活動の維持を目的として、ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）に積極的に取り組んできました。これに加えて、本学へ新規採用となった教員の皆様に、本学の教員として身につけておくべき基本的な知識やスキルを習得する機会を提供するため、新任教員研修を必須化し、本学の教育、研究、社学連携、学内運営に関する取り組みのさらなる向上を目指しています。

本学へ新規採用となった講師・助教等の教員の皆様には、このプログラムガイドを参考に、全学及び各部局が実施する各種教員向け研修を採用後３年間で 30 時間受講していただき、教育、研究、社学連携及びマネジメント能力の習得に努めてください。

2020 年度前期のプログラムも多岐にわたる研修が開講されます。本学の教員として教育研究に携わるうえで有益なものですので、積極的な受講をお願いします。

理事・副学長（教育担当）
田中敏宏

大阪大学ファカルティ・ディベロップメント研修プログラム

大阪大学はFD（ファカルティ・ディベロップメント）に積極的に取り組んでいます。本プログラムは、教員として必要な①教育能力、②研究能力、③社学連携能力、④マネジメント能力の４つのカテゴリーに分けて整理されています。伸ばしたい能力にあわせてプログラムガイドをご活用ください。

教育能力
開発プログラム

教育技法や教材作成方法、評価方法、学内の授業支援システム（CLE）の操作方法、多様な学生への理解など、阪大生の学習を促すための授業設計に関するプログラムです。

研究能力
開発プログラム

学術情報の迅速かつ効率的な収集方法や発信方法、厳守すべき研究倫理など、研究を行う上で必要な能力開発を目指すプログラムです。

マネジメント能力
開発プログラム

薬品や廃液の取扱など安全衛生に関わる内容や、各種コンプライアンスに関わる内容など、組織の管理運営能力の開発を目指すプログラムです。

社学連携能力
開発プログラム

緒方洪庵が開いた適塾や大阪大学の歴史など本学への理解を深めるプログラムや、実社会と連携した教育や研究の進め方についてのプログラムです。

大阪大学全学FDプログラム受講証明制度

大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部（旧：教育学習支援センター）では、2014年度から全学FDプログラムの受講証明制度を実施しています。受講者は大阪大学CLEにおいて受講時間数（FDポイント）と、受講時間数によって色が変わるFDバッジを確認することができます。また、教育学習支援部では、受講者の申し出に応じて、30時間ごとに修了証明書を発行します（上限120時間）。

FDバッジの確認方法

1. CLEに阪大IDでログインする。
2. コミュニティから「教育学習支援コモンズ（TLSC）FD」をクリックする。
3. 左側の「FDバッジの確認」をクリックする

FDバッジの種類

ブロンズ 30時間以上
シルバー 60時間以上
ゴールド 90時間以上
プラチナ 120時間以上

研修プログラム受講必須時間数

新任教員の皆さんは以下の通り各プログラムを受講してください。

- ▶ 教育能力 開発プログラム …… 10時間以上
- ▶ 研究能力 開発プログラム …… 4時間以上
- ▶ 社学連携能力 開発プログラム
- ▶ マネジメント能力 開発プログラム

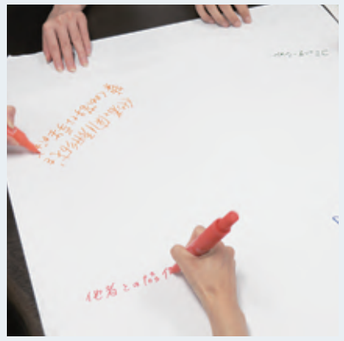
…… あわせて6時間以上

新制度

「未来の大学教員養成プログラム」等プレFDを修了した方へ

本学及び他大学においてプレFDプログラム（大学院生を対象とした教育能力開発プログラム）を修了した方は、修了プログラム等の内容に応じて、左記の研修プログラムの受講必須時間数に算入することができます。

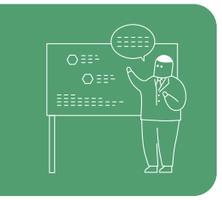
詳細については、所属部局の事務にお問合せください。



研修プログラム一覧〈令和２年度上期（2020.4 ～2020.9）開催分〉

※掲載内容は１月24日時点の情報です。
最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」（FD 関係）にてご確認ください。

カテゴリ	掲載ページ	対象者の限定	研修題目（研究テーマ／タイトル）	場所	日時	時間数	募集定員	使用言語	開催部局
4月									
研究	P.16	○	総合解析センター説明会（機器分析講習会）	吹田	4月6日 13:45-16:45	3	50名	日本語	産業科学研究所
教育	P.8	○	理学教育カリキュラム反省会	豊中	4月7日 13:30-16:00	2.5	150名	日本語	理学研究科
研究	P.16	○	医学系研究科主催セミナー	吹田	4月7日 18:00-19:30	1.5	130名	日本語	医学系研究科
教育	P.8	–	キャリア教育の導入背景と具体的実践方法	豊中	4月16日 16:30-17:30	1	30名	日本語	キャリアセンター 全学教育推進機構
教育	P.8	–	アクティブ・ラーニングを取り入れた授業デザイン	豊中	4月23日 13:00-15:00	2	30名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
研究	P.16	○	不正防止について	吹田	4月24日 13:50-14:10 15:30-15:50	0.33	未設定	日本語／English	微生物病研究所、免疫学フロンティア研究センター
教育	P.9	–	双方向型授業導入のための基礎	豊中	4月23日 15:00-18:00	3	40名	日本語	CO デザインセンター
教育	P.9	–	学生のこころへの関わり方	吹田	4月（日程未定） 13:30-15:30	2	30名	日本語	工学研究科
マネジメント	P.19	–	新入教職員安全衛生講習会	豊中	4月頃	2.25	250名	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.19	–	新入教職員安全衛生講習会	吹田	4月頃	2.25	250名	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.19	○	基礎工学部・基礎工学研究科初任教員研修会（初任者FD）	豊中	4月～5月（日程未定）	3	50名	日本語	基礎工学研究科
マネジメント	P.19	○	産研新人オリエンテーション	吹田	4月下旬	4	50名	日本語	産業科学研究所
マネジメント	P.19	○	産研安全講習会（午前：バイオセイフティー講習会、午後：安全講習会）	吹田	4月下旬 または5月上旬	4	50名	日本語	産業科学研究所
5月									
教育	P.8	–	アクティブ・ラーニングを取り入れた授業デザイン	吹田	5月7日 13:00-15:00	2	30名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.9	–	外国人留学生に向けたキャリア・就職支援の方法	吹田	5月11日 13:00-14:30	1.5	20名	日本語	国際教育交流センター キャリアセンター
教育	P.9	–	わかりやすく伝えるための講義法	豊中	5月15日 13:00-15:00	2	30名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.10	–	研究指導に役立つ探究学習	豊中	5月15日 15:15-17:15	2	30名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.10	–	グループ学習を授業に導入する	豊中	5月21日 14:40-16:10	1.5	30名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
マネジメント	P.20	–	大阪大学薬品管理支援システム（OCCSIV）の利用について	豊中	5月中旬～下旬	1	50名	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.20	–	大阪大学薬品管理支援システム（OCCSIV）の利用について	吹田	5月中旬～下旬	1	50名	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.20	–	実験系廃液・排水の取扱い	豊中	5月中旬～下旬	0.83	50名	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.20	–	実験系廃液・排水の取扱い	吹田	5月中旬～下旬	0.83	50名	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.20	–	非化学系のための化学薬品取扱講習	豊中	5月中旬～下旬	1.5	50名	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.20	–	非化学系のための化学薬品取扱講習	吹田	5月中旬～下旬	1.5	50名	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.20	–	詳解：化学物質安全取扱講習	豊中	5月中旬～下旬	1	50名	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.20	–	詳解：化学物質安全取扱講習	吹田	5月中旬～下旬	1	50名	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.21	–	高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習（低温センター豊中分室編）	豊中	5月中旬～下旬	1.5	50名	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.21	–	高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習（低温センター吹田分室編）	吹田	5月中旬～下旬	1.5	50名	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.21	–	大阪大学高圧ガス管理支援システム（OGCS）利用講習	豊中	5月中旬～下旬	1	50名	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.21	–	大阪大学高圧ガス管理支援システム（OGCS）利用講習	吹田	5月中旬～下旬	1	50名	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.21	–	電気コンセントと電気配線の安全講習	豊中	5月中旬～下旬	1	50名	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.21	–	電気コンセントと電気配線の安全講習	吹田	5月中旬～下旬	1	50名	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.22	○	蛋白研安全講習会	吹田	5月頃（日程未定）	1	150名	日本語	蛋白質研究所
6月									
マネジメント	P.22	–	令和２年度大阪大学新任教職員研修（大学理解研修）	吹田	6月11日（午後）	3	未設定	日本語	総務部 人事課 職員係
社学連携	P.18	–	阪大ブランドの発信地としての大学博物館	豊中	6月12日 14:40-16:10	1.5	30名	日本語	総合学術博物館
教育	P.10	–	学生の心理	吹田	6月19日 15:00-16:30	1.5	20名	日本語	キャンパスライフ健康支援センター
教育	P.11	–	オンライン学習教材作成法	豊中	6月25日 14:40-16:10	1.5	30名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.11	○	不適応学生の理解と対応	豊中	6月25日 (17:00-18:00)	1	40名	日本語	基礎工学研究科
マネジメント	P.22	○	理学研究科・理学部ハラスメントに関する研修会	豊中	6月下旬～7月上旬頃	1	未設定	日本語	理学研究科
マネジメント	P.22	–	ハラスメント防止セミナー	吹田	6月（日程未定） 13:30-15:30	2	30名	日本語	工学研究科
7月									
教育	P.11	–	オンライン学習教材作成法	吹田	7月1日 14:40-16:10	1.5	30名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.9	–	わかりやすく伝えるための講義法	吹田	7月2日 13:00-15:00	2	30名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.10	–	研究指導に役立つ探究学習	吹田	7月2日 15:15-17:15	2	30名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.11	–	学生の不適応	豊中	7月7日 10:30-12:00	1.5	40名	日本語	キャンパスライフ健康支援センター
教育	P.11	–	大学におけるカルト問題	豊中	7月7日 13:30-15:00	1.5	40名	日本語	キャンパスライフ健康支援センター
教育	P.12	–	研究室の教育指導	豊中	7月14日 15:00-17:00	2	30名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.12	–	障がい学生支援	豊中	7月16日 13:30-15:30	2	40名	日本語	キャンパスライフ健康支援センター
教育	P.12	–	シラバスの書き方	吹田	7月16日 14:40-16:10	1.5	30名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.12	–	研究室の教育指導	吹田	7月20日 10:00-12:00	2	30名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.12	–	シラバスの書き方	豊中	7月23日 14:40-16:10	1.5	30名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
マネジメント	P.23	–	ハラスメント防止等に関する研修会	豊中	7月（日程未定）	2	100名	日本語	人権問題委員会
8月									
教育	P.13	–	ノートPCでできる動画教材作成法	豊中	8月18日 13:00-14:30	1.5	30名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.10	–	グループ学習を授業に導入する	吹田	8月26日 14:30-16:00	1.5	30名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.13	–	ノート PC でできる動画教材作成法	吹田	8月27日 13:00-14:30	1.5	30名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
9月									
研究	P.16	–	産学共創により研究成果を社会実装するには！	吹田	9月23日、30日 各16:00-18:00	4	100名	日本語	共創機構
教育	P.13	–	大阪大学ファカルティ・ディベロップメントフォーラム	豊中	9月（日程未定） 13:00-17:00	3.5	300名	日本語	ファカルティ・ディベロップメント委員会
教育	P.13	–	大阪大学ファカルティ・ディベロップメントフォーラム	吹田	9月（日程未定） 13:00-17:00	3.5	300名	日本語	ファカルティ・ディベロップメント委員会
マネジメント	P.23	○	2020年度公的研究費の不正使用防止に係るコンプライアンス説明会	豊中	9月頃（日程未定）	1	80名	日本語	文学研究科
マネジメント	P.23	○	コンプライアンス教育	豊中	9月上旬～10月下旬	1	未設定	日本語	理学研究科
定期・不定期・複数月開催									
教育	P.13	–	コンサルティングサービス―授業改善などのための個別相談―	豊中	随時受付	1	未設定	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.14	–	iPad Café	豊中	隔月第２木曜 16:30-18:00	1.5	30名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.14	–	授業づくりワークショップ	豊中	8月31日～9月1日（各日10:00-18:00）	20	16名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.14	–	英語版授業づくりワークショップ（教育の国際化のためのＦＤワークショップ－学習者中心のアプローチを学ぶ－）	豊中	8月、9月中の４日間（予定）	18	20名	English	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.15	○	FD研修会	吹田	5月、7月（日程未定）	各1	60名	日本語	蛋白質研究所
研究	P.17	–	アドバンストセミナー	吹田	毎月１回（８月を除く） 16:00-17:00	各1	未設定	日本語／English	微生物病研究所、免疫学フロンティア研究センター
研究	P.17	○	微研集談会	吹田	毎月第４火曜日（８月を除く） 16:00-17:00	各1	未設定	日本語	微生物病研究所、免疫学フロンティア研究センター
研究	P.17	○	RIMD FD seminar series: Academic English for RIMD Researchers	吹田	7月～8月の間に４回	1.5×4回	20名	English	微生物病研究所
研究	P.17	○	蛋白研コロキウム	吹田	4月、6月、9月（日程未定）	各0.5	60名	日本語	蛋白質研究所
未定									
教育	P.15	–	エコーアクティブラーニングプラットフォーム（Echo ALP）を用いた講義映像・講義資料配信とその応用	豊中	未定	1.5	30名	日本語	サイバーメディアセンター
教育	P.15	–	エコーアクティブラーニングプラットフォーム（Echo ALP）を用いた講義映像・講義資料配信とその応用	吹田	未定	1.5	30名	日本語	サイバーメディアセンター
教育	P.15	–	授業支援システム（CLE）入門講座	豊中	未定	1.5	20名	日本語	サイバーメディアセンター
教育	P.15	–	授業支援システム（CLE）入門講座	吹田	未定	1.5	20名	日本語	サイバーメディアセンター
教育	P.15	–	授業支援システム（CLE）応用講座	豊中	未定	1.5	20名	日本語	サイバーメディアセンター
教育	P.15	–	授業支援システム（CLE）応用講座	吹田	未定	1.5	20名	日本語	サイバーメディアセンター
マネジメント	P.23	○	コンプライアンス講習会	吹田	未定	1	100名	日本語	工学研究科



教育能力
開発プログラム

教育技法や教材作成方法、評価方法、学内の授業支援システム（CLE）の操作方法、多様な学生への理解など、阪大生の学習を促すための授業設計に関するプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催２週間前までにご連絡ください。
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。（FDポイントの確認方法はP.5 をご参照ください）

限定 理学研究科のみ対象

理学教育カリキュラム反省会

150名 2.5時間 日本語 対面

講師：佐藤尚弘（理学研究科 高分子科学専攻 教授）
中澤康浩（理学研究科 化学専攻 教授）
橋爪章仁（理学研究科 高分子科学専攻 教授）
柿本辰男（理学研究科 生物科学専攻 教授）

豊中 **4月7日 13:30-16:00**

〈キーワード〉 コア科目、プロジェクト教育、教育改革

〈概要〉
コア科目及びプロジェクト教育に関する報告・議論
大阪大学における教育改革等について議論

《問合先： 理学研究科学務係 ri-gakumu@office.osaka-u.ac.jp **》**

キャリア教育の導入背景と具体的実践方法

30名 1時間 日本語 対面

講師：家島明彦（キャリアセンター 准教授）

豊中 **4月16日 16:30-17:30**

〈キーワード〉 キャリア教育、就職支援

〈概要〉
大学設置基準の改正（42 条の 2 新設）に伴い「キャリア教育の義務化」ということが言われてきましたが、そもそも「キャリア教育とは何か？なぜ大学で必要なのか？」を学ぶ機会は少なかったのではないでしょうか？
本セミナーでは、キャリア教育の定義や導入背景、大学の授業における具体的な実践方法（授業をキャリア教育化する方法）などについて学びます。

《問合先： 全学教育推進機構 教育学習支援部 http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp **》**

アクティブ・ラーニングを取り入れた授業デザイン

30名 2時間 日本語 対面

講師：村上正行（全学教育推進機構 教授）

豊中 **4月23日 13:00-15:00**
吹田 **5月7日 13:00-15:00**

〈キーワード〉 アクティブ・ラーニング、教育技法

〈概要〉
アクティブ・ラーニングとは、学生の学習意欲の向上や汎用的能力の育成に有効な教授・学習法の総称です。本研修では、大学におけるアクティブ・ラーニングの導入背景や、授業にアクティブ・ラーニングを取り入れる方法を説明します。また、学生の主体的な学習活動を促す様々な教育技法を組み合わせてアクティブ・ラーニング型授業をデザインするワークを行います。

《問合先： 全学教育推進機構 教育学習支援部 http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp **》**

双方向型授業導入のための基礎

40名 3時間 日本語 対面

講師：平田オリザ（CO デザインセンター 特任教授）

豊中 **4月23日 15:00-18:00**

〈キーワード〉 演劇、ワークショップ、アクティブラーニング、コミュニケーション、大学入試改革

〈概要〉
メタワークショップと呼ばれる手法で、実際にワークショップを受講しながら授業のアクティブラーニング化のヒントや課題について解説する。

《問合先： 全学教育推進機構等事務部（CO デザインセンター総務担当） yamada-t@office.osaka-u.ac.jp **》**

学生のこころへの関わり方

30名 2時間 日本語 対面

講師：根岸和政（工学研究科 附属オープンイノベーション教育研究センター 講師）

吹田 **4月（日程未定）13:30-15:30**

〈キーワード〉 共感、レジリエンス、学生指導上の留意点

〈概要〉
人間の行動原理、学生の心情、その関わり方について紹介する。

《問合先： コンプアライアンス室方 レジリエンス・サポートルーム negishi@coire.eng.osaka-u.ac.jp **》**

外国人留学生に向けたキャリア・就職支援の方法

20名 1.5時間 日本語 対面

講師：魚崎典子（国際教育交流センター 特任准教授）

吹田 **5月11日 13:00-14:30**

〈キーワード〉 外国人留学生、キャリアサポート、就職支援

〈概要〉
政府は「日本再興戦略 2016」を提言し、外国人留学生の日本国内での就職率を現状の３割から５割に向上させるという目標を掲げました。その結果、産官学が連携した留学生就職支援の様々な試みが行われています。しかしながら世界に類を見ない日本の複雑な就活プロセスが留学生の日本での就職を一層困難にしています。本セミナーでは留学生に対して就職支援を行うにあたって直面する種々の問題とその解決策について学びます。

《問合先： 国際教育交流センター career@ciee.osaka-u.ac.jp **》**

わかりやすく伝えるための講義法

30名 2時間 日本語 対面

講師：佐藤浩章（全学教育推進機構 准教授）

豊中 **5月15日 13:00-15:00**
吹田 **7月2日 13:00-15:00**

〈キーワード〉 講義法、情報伝達、理解、記憶

〈概要〉
人前で話すときに、「本当に伝わっているのかな？」と不安になることはありませんか。その不安を解消するために、知識伝達を行う技法である講義法を学んでみませんか。講義法で大切なことは、学生が知識を理解し記憶するメカニズムを踏まえて、わかりやすく記憶に残るように教えることです。本プログラムではその理解をもとに、効果的な技法を習得することを目指します。学会発表や市民向け公開講座にも応用できる内容です。

《問合先： 全学教育推進機構 教育学習支援部 http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp **》**

定員
受講時間
使用言語
研修形式

※掲載内容は1月24日時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」（FD関係）にてご確認ください。

教育能力
開発プログラム

研究指導に役立つ探究学習

30名 2時間 日本語 対面

講師：佐藤浩章（全学教育推進機構 准教授）

豊中 5月15日 15:15-17:15
吹田 7月2日 15:15-17:15

〈キーワード〉問い、探究、アクティブラーニング

〈概要〉
学生に深い学びを促すために、探究学習（Inquiry-Based Learning）を授業やカリキュラムに導入する事例が増えています。探究学習は卒業論文のように長期的なものから、2 コマ程度で完結するような短期的なものもあります。探究学習は課題だけを与えて放任するだけではうまくいきません。探究学習を構成する要素には、課題、問いづくり、目標、タイムスケジュール、プロジェクトマネジメント、評価がありますが、本セミナーでは、それぞれを適切に設定する方法について学びます。学問への扉を担当する教員に特に推奨します。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部 http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp**》**

グループ学習を授業に導入する

30名 1.5時間 日本語 対面

講師：西森年寿（人間科学研究科 人間科学専攻 教授）
大山牧子（全学教育推進機構 助教）

豊中 5月21日 14:40-16:10
吹田 8月26日 14:30-16:00

〈キーワード〉グループ学習, 授業デザイン, 教育技法

〈概要〉
アクティブ・ラーニング型の授業が注目されています。アクティブ・ラーニング型の授業で多く導入されるグループ学習には、様々な種類がありますが、学生の深い学びをもたらすためには、目的に応じた方法を導入することが重要です。自らの授業の中でどのようにとりいれて良いのかお困りではないですか？本セミナーでは、大学の授業の中で実施され得る様々な種類のグループ学習と、その特徴を説明すると共に、授業の中で目的に応じてどのように導入するかを考えます。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部 http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp**》**

学生の心理

20名 1.5時間 日本語 対面

講師：石金直美（キャンパスライフ健康支援センター 准教授）

吹田 6月19日15:00-16:30

〈キーワード〉学生の心理的特徴、心理的問題、学生とのコミュニケーションのコツ

〈概要〉
まず上記のテーマについて講義形式で学びます。後半は模擬事例を用いてディスカッションや簡単なロールプレイを行います。

《問合先：キャンパスライフ健康支援センター庶務係 campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp**》**

オンライン学習教材作成法

30名 1.5時間 日本語 対面

講師：権藤千恵（全学教育推進機構 特任研究員）

豊中 6月25日 14:40-16:10
吹田 7月1日 14:40-16:10

〈キーワード〉オンライン学習、e- ラーニング、オンデマンド講義

〈概要〉
オンライン学習教材を活用して対面授業と組み合わせた反転学習やブレンド型学習を導入する大学が増えています。
本セミナーでは、オンライン教材に必要な学習教材、特にレクチャービデオの作成方法についてハンズオンセミナーを行います。参加者には教材をビデオで提示する方法の他、グリーンバックでの撮影体験も行います。
* 当日はノートパソコン（Windows もしくは Mac）をご持参ください。
* 本セミナーでは実際に自分のノートパソコンを使って DYI でのレクチャービデオ作成を行います。実際にビデオ作成をお考えの先生はビデオで使用するスライド素材などをお持ちください。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部 http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp**》**

限定 基礎工学研究科のみ対象

不適応学生の理解と対応

40名 1時間 日本語 対面

講師：上原 秀子（基礎工学研究科 講師）

豊中 6月25日 17:00-18:00

〈キーワード〉不適応の背景、保護者の教育観、高校までの教育と大学教育

〈概要〉
大学生活の節目（入学後、研究室配属後、進路決定時など）で起こりがちな不適応の状態とその背景について講義形式で学びます。その後、ディスカッション形式でテーマについての理解を深めます。

《問合先：基礎工学研究科 教務係 ki-kyomu@office.osaka-u.ac.jp**》**

学生の不適応

40名 1.5時間 日本語 対面

講師：水田一郎（キャンパスライフ健康支援センター 教授）

豊中 7月7日 10:30-12:00

〈キーワード〉心理的問題、環境ストレス、精神疾患、発達障がい

〈概要〉
まず、上記テーマ（学生の陥りやすい不適応の領域、学生に多い精神疾患や発達障がいの特徴と対応）について講義形式で学びます。その後、ディスカッション形式でテーマについての理解を深めます。

《問合先：キャンパスライフ健康支援センター庶務係 campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp**》**

大学におけるカルト問題

40名 1.5時間 日本語 対面

講師：太刀掛俊之（キャンパスライフ健康支援センター 教授）

豊中 7月7日 13:30-15:00

〈キーワード〉カルト予防、安全配慮義務、心理的問題

〈概要〉
上記のテーマについて講義形式で学びます。後半においては、他大学の事例も紹介しながら、担当講師との対話形式で意見交換を行い、学生支援に対する理解を深めます。

《問合先：キャンパスライフ健康支援センター庶務係 campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp**》**

定員
受講時間
使用言語
研修形式

※掲載内容は1月24日時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」（FD関係）にてご確認ください。

教育能力
開発プログラム

研究室の教育指導

30名 2時間 日本語 対面

講師：佐藤浩章（全学教育推進機構 准教授）
橋爪章仁（理学研究科 高分子科学専攻 教授）

豊中 **7月14日 15:00-17:00**
吹田 **7月20日 10:00-12:00**

〈キーワード〉研究室教育、研究室マネジメント、研究室理念（ラボポリシー）

〈概要〉
ゼミや研究室での論文指導などはうまくいっているでしょうか。研究室教育は日本が誇る大学教育の方法です。徒弟制を基盤としたこの教育方法をうまく実施するには、徒弟制教育の特徴を理解し、研究室の理念（ラボポリシー）の共有、年間に渡る教育イベントの設計など、いくつかのポイントがあります。阪大での優れた研究室教育の事例などを通して、自身の所属する研究室へどう実装するかを考えます。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部 http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp**》**

障がい学生支援

40名 2時間 日本語 対面

講師：望月直人（キャンパスライフ健康支援センター 准教授）
樋口隆太郎（キャンパスライフ健康支援センター 特任研究員）
楠敬太（キャンパスライフ健康支援センター 特任研究員）
森千夏（キャンパスライフ健康支援センター 特任研究員）
その他 講師、特任講師

豊中 **7月16日 13:30-15:30**

〈キーワード〉心理的問題、精神疾患、発達障がい、身体障がい、合理的配慮

〈概要〉
まず、上記テーマ（学生の陥りやすい不適応の領域、学生に多い精神疾患や発達障がいの特徴と対応）について講義形式で学びます。その後、ディスカッション形式でテーマについての理解を深めます。

《問合先：キャンパスライフ健康支援センター庶務係 campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp**》**

シラバスの書き方

30名 1.5時間 日本語 対面

講師：大山牧子（全学教育推進機構 助教）

豊中 **7月23日 14:40-16:10**
吹田 **7月16日 14:40-16:10**

〈キーワード〉シラバス、授業設計、目的、目標、スケジュール、評価

〈概要〉
シラバスは授業の設計図であり、授業の出発点です。そのシラバスの記載は十分に学生の学習を促すものになっているでしょうか。あるいは、国際社会で通用するものになっているでしょうか。外部評価においても、そして教員の個人業績評価においても、シラバスの重要性は高まっています。本セミナーでは、学生の自学自習を促すシラバス作成方法を身につけます。ぜひ新しいシラバスを使ってスタートしましょう。
* 参加者はご自身のシラバス（どれか１つ）を持参ください（ご自身のシラバスがない方は、専門領域に近い科目等のシラバスを１つご持参ください）。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部 http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp**》**

定員
受講時間
使用言語
研修形式

ノートPCでできる動画教材作成法

30名 1.5時間 日本語 対面

講師：浦西友樹（サイバーメディアセンター 准教授）
浦田悠（全学教育推進機構 特任講師）

豊中 **8月18日 13:00-14:30**
吹田 **8月27日 13:00-14:30**

〈キーワード〉ICT 活用、アクティブラーニング

〈概要〉
大阪大学の教職員であれば無料で使用できる echo360 社の講義収録配信システムを用いれば、機材を設置している教室もしくはお手持ちのパソコンで、手軽に e ラーニング教材を作成・配信することができます。専用のアプリケーションとウェブカメラ（内蔵 or 外付け）を使えば、パソコン画面とカメラ映像の２画面を同時に収録・配信することも可能です。現在、このシステムは、予習や復習、出張時等の授業のオンライン化、補講での活用の他、部局や研究室でのオンライン講習や特別な配慮が必要な学生のための配信等、学内で様々に利活用されています。本セミナーでは、ご自身のノートパソコンで実際に映像教材をつくりながら、授業等での活用方法をご検討いただきます。
* 当日はノートパソコン（Windows もしくは Mac）および大阪大学個人 ID・パスワードをご準備下さい。USB カメラは幾つか準備しておりますが、数が足りない場合はご容赦ください。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部 http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp**》**

大阪大学ファカルティ・ディベロップメントフォーラム

300名 3.5時間 日本語 対面／オンライン

講師：未定

豊中 **9月（日程未定）13:00-17:00**
吹田 **9月（日程未定）13:00-17:00**

〈キーワード〉教育改革、アクティブ・ラーニング、英語による授業、携帯端末等の授業への活用、カルト問題、障がい学生支援 等

〈概要〉
１．基調講演またはパネルディスカッション：参加者全員を対象として、最新の教育改革のトレンド等について情報提供を行う。
２．研修：班別のグループ討議及びワークショップ。（主な研修テーマ：アクティブ・ラーニング、英語による授業、携帯端末等の授業への活用、カルト問題、障がい学生支援など）

《問合先：教育・学生支援部 教育企画課 総務係 gakusei-gakumu-soumu@office.osaka-u.ac.jp**》**

コンサルティングサービス ― 授業改善などのための個別相談 ―

未設定 1時間 日本語 対面／オンライン

講師：全学教育推進機構 教育学習支援部教員

豊中 **随時受付**

〈キーワード〉授業デザインのプロセス、学生の学習、教育内容、学習成果、教授法、学習評価

〈概要〉
授業デザインやシラバス、教授法、評価などに関する様々なご相談を承っております。
【これまでのご相談例】
・授業中に質問しても学生の反応がない
・タブレット端末やスマートフォンを活用した授業をしたい
・英語での講義を担当することになったが、不安である
・研究室をうまくマネジメントできない
→ご要望に応じて、改善策を練るご支援や情報提供、ご提案をいたします。お気軽にご連絡ください。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部 http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp**》**

※掲載内容は1月24日時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」（FD関係）にてご確認ください。

教育能力
開発プログラム

iPad Café

30名 1.5時間 日本語 対面

講師：岩居弘樹(全学教育推進機構 教授)

豊中 **隔月第２木曜 16:30-18:00**

〈キーワード〉mobile apps and devices, interactive classroom, collaborative learning

〈概要〉

携帯端末・タブレット端末を活用して、学生同士・学生と教員のインタラクティブな授業を実現してみませんか。iPad Café は、iPad の活用方法、HALC（Handai Active Learning Classroom：iPad 教室）の使い方、アプリ紹介やトラブル対応の方法など、自由に語り合う場です。どなたでも参加いただけます。HALC 以外の教室でも iPad を使ってみたい、学生のモバイル端末を活用したいという方も歓迎です。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部 http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp**》**

授業づくりワークショップ

16名 20時間 日本語 対面

講師：佐藤浩章(全学教育推進機構 准教授)
村上正行(全学教育推進機構 教授)
浦田悠(全学教育推進機構 特任講師)
根岸千悠(全学教育推進機構 特任助教)

豊中 **8月31日～9月1日 各日10:00-18:00**

〈キーワード〉コースデザイン、学習者中心、シラバス、クラスデザイン、マイクロティーチング

〈概要〉

本ワークショップでは、２日間で学習者中心の授業の設計方法を学んだうえで、ご自身のシラバスや授業のブラッシュアップを行います。専門家からのフィードバックをもらい、同じ悩みや不安を抱えた教員と改善のアイディアを練ることで、授業のさらなる質の向上を目指します。単発で開催されているシラバス作成法、講義法、アクティブラーニング、学習評価、ルーブリック評価を集中的に学ぶことができるという点で効率的です。

＊パソコン及び改善したいシラバスをご持参ください。＊全課程修了後に修了証が授与されます。
＊２日間の通し研修となりますので、途中からの参加・退出はできません。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部 http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp**》**

英語版授業づくりワークショップ（教育の国際化のためのFDワークショップ ー学習者中心のアプローチを学ぶー）

20名 18時間 英語 対面

講師：Visiting Lecturer(外部講師を招へい予定)

豊中 **8月、9月中の４日間（予定）**

〈キーワード〉Course Design, Course Content, Learning Outcomes, Assessment, Instructional Strategies, Microteaching

〈概要〉

I: Course Design Workshop (Morning of each day, 10:00-13:00) Day1: Course Content / Day2: Learning Outcomes / Day3: Assessment / Day4: Instructional Strategies
II: Microteaching (Divided into groups A and B, schedule for each) Group A: Day1 and 3 (14:00-17:00) / Group B: Day2 and 4 (14:00-17:00) (For example, if you are in group A, you are required to attend both the morning session and the afternoon session on day 1 & 3, and only the morning session on day 2 & 4.)

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部 http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp**》**

限定 蛋白質研究所のみ対象

FD研修会

60名 各1時間 日本語 対面

講師：各回によって異なる

吹田 **5月、7月（日程未定）**

〈キーワード〉教育、研究、蛋白質

〈概要〉

学内外から様々な分野の研究者やＦＤ担当専門員を招聘し、研修会を開催します。年数回、場所は蛋白質研究所本館１階講堂で行います。若手研究者として大学院生も対象となる場合があります。

《問合先：蛋白質研究所 庶務係 tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp**》**

エコー アクティブラーニング プラットフォーム(Echo ALP)を用いた講義映像・講義資料配信とその応用

30名 1.5時間 日本語 対面

講師：浦西友樹(サイバーメディアセンター 准教授)他

豊中 **未定**
吹田 **未定**

〈キーワード〉授業支援システム、講義映像収録配信、アクティブラーニング

〈概要〉

Echo ALP を実際に操作しながら講義映像配信、講義資料の配信、およびアクティブラーニング機能の利用方法について学ぶ。

《問合先：サイバーメディアセンター 情報メディア教育研究部門 ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp**》**

授業支援システム(CLE)入門講座

20名 1.5時間 日本語 対面

講師：浦西友樹(サイバーメディアセンター 准教授)他

豊中 **未定**
吹田 **未定**

〈キーワード〉授業支援システム, LMS, 教育学習支援情報システム, 教育情報化

〈概要〉

授業支援システム CLE を実際に操作しながらその機能について学ぶ。

《問合先：サイバーメディアセンター 情報メディア教育研究部門 ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp**》**

授業支援システム(CLE)応用講座

20名 1.5時間 日本語 対面

講師：浦西友樹(サイバーメディアセンター 准教授)他

豊中 **未定**
吹田 **未定**

〈キーワード〉授業支援システム, LMS, 教育学習支援情報システム, 教育情報化

〈概要〉

授業支援システム CLE を実際に操作しながらその機能について学ぶ。

《問合先：サイバーメディアセンター 情報メディア教育研究部門 ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp**》**

定員
受講時間
使用言語
研修形式

※掲載内容は１月24日時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。

研究能力
開発プログラム

学術情報の迅速かつ効率的な収集方法や発信方法、厳守すべき研究倫理など、研究を行う上で必要な能力開発を目指すプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催２週間前までにご連絡ください。
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。（FDポイントの確認方法は P. 5 をご参照ください）

限定 産業科学研究所のみ対象

総合解析センター説明会（機器分析講習会）

50名 3時間 日本語 対面

講師：鈴木健之（産業科学研究所 准教授）
他９名

吹田 **4月6日 13:45-16:45**

〈キーワード〉分析法、装置の原理、適用範囲、予約法

〈概要〉
まず分析の基本となる、装置の分類についての概要を学びます。その後、種類別に測定法の原理と測定装置の仕組み、研究への応用例について学びます。また、測定装置を利用する際の利用方法、共同利用するうえでのマナーおよび安全上の注意について学びます。

《**問合先**：産業科学研究所 総合解析センター cac-secretary@sanken.osaka-u.ac.jp》

限定 医学系研究科のみ対象

医学系研究科主催セミナー

130名 1.5時間 日本語 対面

講師：武部貴則（東京医科歯科大学 統合研究機構教授）

吹田 **4月7日 18:00-19:30**

〈キーワード〉最新の医学情報と応用への展開

〈概要〉
最新の国内外の医学情報の提供による医学研究者としてのスキルアップを図ります。

《**問合先**：医学系研究科 総務課 庶務係 i-soumu-syomu@office.osaka-u.ac.jp》

限定 微生物病研究所、免疫学フロンティア研究センターのみ対象

不正防止について

未設定 0.33時間 日本語／英語 対面／オンライン

講師：岡田雅人（微生物病研究所 所長・教授）

吹田 **4月24日 13:50-14:10、15:30-15:50**

〈キーワード〉研究不正、研究倫理、捏造、改ざん、剽窃、不正使用

〈概要〉
本研修は「微生物病研究所・IFReC 諸施設の利用に関するオリエンテーション」における１メニューであり、微生物病研究所、IFReC に所属する全教職員・学生に対し、微生物病研究所所長によるレクチャーが行われる。また、当日欠席者には、後日録画した DVD あるいは WEB システムの e-learning 視聴を義務つける。

《**問合先**：微生物病研究所 企画広報推進室 suishin@biken.osaka-u.ac.jp》

産学共創により研究成果を社会実装するには！

100名 4時間 日本語 対面

講師：北岡康夫（共創機構 教授）
加藤浩介（共創機構 講師）他
ゲストスピーカー
（起業・特許活用・企業との共同研究を経験した阪大教員、ベンチャーキャピタリスト等）

吹田 **9月23日、30日 各16:00-18:00**

〈キーワード〉産学共創、研究成果の社会実装、ベンチャー起業、知的財産、企業との共同研究

〈概要〉
産学共創により研究成果を社会実装するために必要な基本知識として、ベンチャー起業および知的財産戦略の重要性、また企業等との産学共創の進め方とリスクマネジメントについて学びます。

《**問合先**：共創推進部 産学共創課 産学企画係 kyousou-sangaku-kikaku@office.osaka-u.ac.jp》

定員
受講時間
使用言語
研修形式

アドバンストセミナー

未設定 各１時間 日本語／英語 対面

講師：各回により異なる

吹田 **毎月1回(8月を除く) 16:00-17:00**

〈キーワード〉感染症、免疫学

〈概要〉
学外から招聘した感染症学・免疫学分野の第一線の研究者によるレクチャーを開催する。基本的に月１回。本セミナーは大学院高度副プログラム及び医学系研究科単位認定セミナーであり、若手研究者としての大学院生も対象。
本セミナーシリーズ開催により、所内所属を含む特に若手研究者の知見向上を目指し、学内外の研究交流促進と活性化により、広い視野を持った研究者の育成をめざす。

《**問合先**：微生物病研究所 企画広報推進室 suishin@biken.osaka-u.ac.jp》

限定 微生物病研究所、免疫学フロンティア研究センター及び医学系研究科のみ対象

微研集談会

未設定 各1時間 日本語／英語 対面

講師：各回により異なる

吹田 **毎月第４火曜日（８月を除く）16:00-17:00**

〈キーワード〉感染症、免疫学、がん、ゲノム解析学

〈概要〉
微生物病研究所、IFReC に所属する若手教職員を中心に、最新の研究成果について発表と、質疑応答を行う。本研究セミナーは医学系研究科単位認定セミナーでもあり、若手研究員としての大学院生教育目的も併せ持つ。本セミナー開催により、所内所属を含む大学院生や若手研究者の研究発表能力およびディスカッション能力の向上を図り、さらに広い視野を持った次世代を担う研究者の育成を目指す。

《**問合先**：微生物病研究所 企画広報推進室 suishin@biken.osaka-u.ac.jp》

限定 微生物病研究所のみ対象

RIMD FD seminar series: Academic English for RIMD Researchers

20名 1.5時間×4回 英語 対面

講師：Dr. Neville Greening

吹田 **7月～8月の間に4回**

〈キーワード〉研究成果の情報発信、Academic English

〈概要〉
学会発表を模した模擬プレゼンテーションを行い、英語のネイティブスピーカーにチェックをうける。また、プレゼンテーションだけでなく、質疑応答も行い、英語によるコミュニケーションや対応のノウハウも学ぶ。

《**問合先**：微生物病研究所 企画広報推進室 nakagomi@biken.osaka-u.ac.jp》

限定 蛋白質研究所のみ対象

蛋白研コロキウム

60名 各0.5時間 日本語 対面

講師：各回によって異なる

吹田 **4月、6月、9月(日程未定)**

〈キーワード〉蛋白質、構造生物学

〈概要〉
主に所内教員による専門分野に関する講演を開催します。年数回、場所は蛋白質研究所本館１階講堂で行います。若手研究者として大学院生も対象となる場合があります。

《**問合先**：蛋白質研究所 庶務係 tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp》

※掲載内容は１月24日時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」（FD関係）にてご確認ください。

社学連携能力
開発プログラム

緒方洪庵が開いた適塾や大阪大学の歴史など本学への理解を深めるプログラムや、実社会と連携した教育や研究の進め方についてのプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催２週間前までにご連絡ください。
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。（FDポイントの確認方法はP.5 をご参照ください）

阪大ブランドの発信地としての大学博物館

30名　1.5時間　日本語　対面

講師：宮久保圭祐（社学共創本部 准教授）
橋爪節也（社学共創本部 教授）

豊中　**6月12日 14:40-16:10**

〈キーワード〉大学博物館、研究、教育

〈概要〉
大阪大学総合学術博物館では、展示を通じて大学の源流や大阪大学で行われた研究を社会に発信し、また展覧会・サイエンスカフェを研究教育のアウトリーチや成果発表の場として活用している。本プログラムではアウトリーチや成果発表の場を通して、阪大ブランドを社会に発信する方法を考える。

《問合先：共創推進部 社学共創課 社学共創係
miyakubo@museum.osaka-u.ac.jp　kyousou-syagaku-syakyou@office.osaka-u.ac.jp**》**

定員
受講時間
使用言語
研修形式

新入教職員安全衛生講習会

250名　2.25時間　日本語　対面

講師：百瀬英毅（安全衛生管理部 准教授）他

豊中　**4月頃**
吹田　**4月頃**

〈キーワード〉安全衛生

〈概要〉
新たに本学の教職員となった者を対象に、労働安全衛生規則第 35 条（雇入れ時等の教育）に基づき、本学における安全衛生管理の基本事項を理解していただくとともに、安全意識の向上、事故・災害発生の防止、健康の保持増進に役立てます。

《問合先：安全衛生管理部推進第一グループ　anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp**》**

限定 基礎工学研究科のみ対象

基礎工学部・基礎工学研究科初任教員研修会（初任者FD）

50名　3時間　日本語　対面

講師：基礎工学部長・基礎工学研究科長、教育企画推進室学部教務委員長、学生委員会委員長、ハラスメント防止委員会委員長、研究企画推進室長、事務部

豊中　**4月～5月(日程未定)**

〈キーワード〉説明、配付資料、基礎工学部・基礎工学研究科、教育、研究、学生支援、ハラスメント防止、事務手続き

〈概要〉
「基礎工学部・基礎工学研究科の沿革と現在」、「研究企画推進について」、「基礎工学部・基礎工学研究科の教育」、「基礎工学部・基礎工学研究科の学生支援」、「ハラスメント防止の重要性」、「基礎工学研究科における事務手続きについて」という６つの講義において講師が説明を行い、最後に質疑応答を行います。

《問合先：基礎工学研究科 人事係　ki-jinji@office.osaka-u.ac.jp**》**

限定 産業科学研究所のみ対象

産研新人オリエンテーション

50名　4時間　日本語　対面

講師：大岩顕（産業科学研究所 教授）
（その他産研教員）

吹田　**4月下旬**

〈キーワード〉新人、オリエンテーション

〈概要〉
産業科学研究所の歴史および現在の研究・組織について、各担当教職員等が紹介する。

《問合先：産業科学研究所 企画室　isir-secretary@sanken.osaka-u.ac.jp**》**

限定 産業科学研究所のみ対象

産研安全講習会
（午前：バイオセーフティ講習会、午後：安全講習会）

50名　4時間　日本語　対面

講師：バイオセイフティー担当教員と技術職員

吹田　**4月下旬または5月上旬**

〈キーワード〉安全管理、説明

〈概要〉
前半は産研においてバイオ実験に新しく従事する学生・研究者を対象に法令に関わる部分を中心に講習を行います。
後半は産研に新しく来られた学生・教職員全員を対象に安全衛生講習を行います。

《問合先：産業科学研究所 技術室 奥村 由香　okumura@sanken.osaka-u.ac.jp**》**

マネジメント能力
開発プログラム

薬品や廃液の取扱など安全衛生に関わる内容や、各種コンプライアンスに関わる内容など、組織の管理運営能力の開発を目指すプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催２週間前までにご連絡ください。
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。（FDポイントの確認方法はP.5 をご参照ください）

※掲載内容は1月24日時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」（FD関係）にてご確認ください。

定員
受講時間
使用言語
研修形式

マネジメント能力
開発プログラム

大阪大学薬品管理支援システム（OCCSIV）の利用について

50名 1時間 日本語 対面

講師：角井伸次（環境安全研究管理センター 准教授）

豊中 **5月中旬～下旬**
吹田 **5月中旬～下旬**

〈キーワード〉大阪大学薬品管理支援システム（OCCSIV）

〈概要〉

大阪大学薬品管理支援システム（OCCSIV）の使用方法を習得する。また、化学物質に関連する法令等による規制についても理解を深める。

《問合先：安全衛生管理部推進第一グループ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp**》**

実験系廃液・排水の取扱い

50名 0.83時間 日本語 対面

講師：角井伸次（環境安全研究管理センター 准教授）

豊中 **5月中旬～下旬**
吹田 **5月中旬～下旬**

〈キーワード〉実験系廃液・排水の取扱い

〈概要〉

実験系廃液の取扱いでは、実験室で生じる廃液の貯留区分や回収方法、注意点など危険な事例を含めて研修します。
また実験系排水の取扱いでは、実験器具の洗浄方法・排水の規制項目や注意点、水質汚濁防止法の有害物質、管理要領・点検表、特定施設の届出などについて研修します。

《問合先：安全衛生管理部推進第一グループ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp**》**

非化学系のための化学薬品取扱講習

50名 1.5時間 日本語 対面

講師：山本仁（安全衛生管理部 教授）

豊中 **5月中旬～下旬**
吹田 **5月中旬～下旬**

〈キーワード〉化学薬品

〈概要〉

非化学系（生物系・物理系）の研究分野で化学薬品を取り扱う教職員に対して、化学物質が危険性・有害性を有していること、管理の必要性、法規制、管理方法、危険有害性情報、法令情報の取得方法について学びます。

《問合先：安全衛生管理部推進第一グループ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp**》**

詳解：化学物質安全取扱講習

50名 1時間 日本語 対面

講師：山本仁（安全衛生管理部 教授）

豊中 **5月中旬～下旬**
吹田 **5月中旬～下旬**

〈キーワード〉化学薬品

〈概要〉

化学薬品の安全な取扱いに関する知識と、関連する主な法令に基づく適切な薬品管理の方法について解説します。また、薬品等の廃棄に関連する方法、概念についても説明します。

《問合先：安全衛生管理部推進第一グループ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp**》**

定員
受講時間
使用言語
研修形式

高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習（低温センター豊中分室編）

50名 1.5時間 日本語 対面

講師：竹内徹也（低温センター 助教）

豊中 **5月中旬～下旬**

〈キーワード〉高圧ガス・液体寒剤

〈概要〉

低温寒剤の安全な取扱い方と注意点及び低温センターの利用法について講習します。また高圧ガスや高圧ガスボンベの取扱いについて初歩的な講習を行います。

《問合先：安全衛生管理部推進第一グループ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp**》**

高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習（低温センター吹田分室編）

50名 1.5時間 日本語 対面

講師：中本将嗣（低温センター 助教）

吹田 **5月中旬～下旬**

〈キーワード〉高圧ガス・液体寒剤

〈概要〉

低温寒剤の安全な取扱い方と注意点及び低温センターの利用法について講習します。また高圧ガスや高圧ガスボンベの取扱いについて初歩的な講習を行います。

《問合先：安全衛生管理部推進第一グループ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp**》**

大阪大学高圧ガス管理支援システム（OGCS）利用講習

50名 1時間 日本語 対面

講師：中本将嗣（低温センター 助教）

豊中 **5月中旬～下旬**
吹田 **5月中旬～下旬**

〈キーワード〉高圧ガス管理支援システム (OGCS)

〈概要〉

高圧ガスを取り扱う教職員で大阪大学高圧ガス管理システム（OGCS）を使用する教職員が使用方法を習得する。

《問合先：安全衛生管理部推進第一グループ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp**》**

電気コンセントと電気配線の安全講習

50名 1時間 日本語 対面

講師：百瀬英毅（安全衛生管理部 准教授）

豊中 **5月中旬～下旬**
吹田 **5月中旬～下旬**

〈キーワード〉電気コンセント

〈概要〉

実験等で安全に電気を取り扱うための基本事項を取得します。

《問合先：安全衛生管理部推進第一グループ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp**》**

※掲載内容は1月24日時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」（FD関係）にてご確認ください。

マネジメント能力
開発プログラム

限定 蛋白質研究所のみ対象

蛋白研安全講習会

150名 1時間 日本語 対面

講師：未定

吹田 **5月頃（日程未定）**

〈キーワード〉安全管理

〈概要〉
本研究所において実験を従事する学生・教職員を対象に、実験に関連する安全な取扱いに関する知識に基づく適切な管理方法を習得できる講習を行います。

《問合先：蛋白質研究所 庶務係 tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp **》**

令和２年度大阪大学新任教職員研修（大学理解研修）

未設定 3時間 日本語 対面

講師：金田安史（大阪大学 理事）
田中敏宏（大阪大学 理事）
尾上孝雄（大阪大学 理事）
河原源太（大阪大学 理事）
工藤眞由美（大阪大学 理事）
三成賢次（大阪大学 理事）
中谷和彦（大阪大学 理事）
奈良哲（大阪大学 理事）
三上有丈（総務部長）

吹田 **6月11日(午後)**

〈キーワード〉ガバナンス、教育、グローバル化、財務状況、社学共創、情報セキュリティ、産学共創、男女協働推進、研究推進、ハラスメント防止、人事・労務

〈概要〉
新任教職員に対して、役員等による講義を行います。

《問合先：総務部 人事課 職員係 soumu-jinji-syoku1@office.osaka-u.ac.jp **》**

限定 理学研究科のみ対象

理学研究科・理学部ハラスメントに関する研修会

未設定 1時間 日本語 対面

講師：未定

豊中 **6月下旬～7月上旬頃**

〈キーワード〉ハラスメント防止

〈概要〉
理学研究科教職員を対象に、ハラスメントに関する講演を行う。

《問合先：理学研究科人事係 ri-jinji@office.osaka-u.ac.jp **》**

ハラスメント防止セミナー

30名 2時間 日本語 対面

講師：根岸和政
（工学研究科 附属オープンイノベーション教育研究センター 講師）

吹田 **6月(日程未定) 13:30-15:30**

〈キーワード〉ハラスメント防止、他者視点、感情力、ストレスケア、ハラスメント抑止

〈概要〉
ハラスメントは、円滑な人間関係とストレスに起因する感情・情動のコントロールによって、加害者・被害者の体験を回避できることについて、解説・演習を展開する。

《問合先：コンプアライアンス室方 レジリエンス・サポートルーム negishi@coire.eng.osaka-u.ac.jp **》**

定員
受講時間
使用言語
研修形式

ハラスメント防止等に関する研修会

100名 2時間 日本語 対面

講師：未定

豊中 **7月 (日程未定)**

〈キーワード〉ハラスメント問題、人権問題

〈概要〉
ハラスメント問題（テーマは未定）

《問合先：総務部 総務課 業務運営係 soumu-soumu-jimukaikaku@office.osaka-u.ac.jp **》**

限定 文学研究科のみ対象

2020年度公的研究費の不正使用防止に係るコンプライアンス説明会

80名 1時間 日本語 対面

講師：会計係

豊中 **9月頃（日程未定）**

〈キーワード〉公的研究費、不正使用、コンプライアンス、物品調達システム、旅費申請システム、教員発注制度

〈概要〉
不正使用防止計画推進室から提供された部局等コンプライアンス教育用教材等に基づき、部局における公的研究費の不正使用防止に係るコンプライアンス教育の一環として、説明会を開催するものです。

《問合先：文学研究科会計係 bunsouhaku-kaikei@office.osaka-u.ac.jp **》**

限定 理学研究科のみ対象

コンプライアンス教育

未設定 1時間 日本語 対面

講師：専攻長
附属施設長

豊中 **9月上旬～10月下旬**

〈キーワード〉研究倫理、研究費不正使用防止、コンプライアンス教育

〈概要〉
1．公的研究費の不正使用防止について
2．教員発注制度：発注を行う教職員の方へ～権限とその責任について～

《問合先：各専攻担当者 **》**

限定 工学研究科のみ対象

コンプライアンス講習会

100名 1時間 日本語 対面

講師：青木伸一（工学研究科 地球総合工学専攻 教授）

吹田 **日程未定**

〈キーワード〉コンプライアンス、公的研究費、不正使用防止

〈概要〉
工学研究科対象教職員および新任教員に対して 50 分程度の講義ののち、質問を受け付ける。

《問合先：大学院工学研究科 総務課 コンプライアンス推進室 kou-soumu-compliance@office.osaka-u.ac.jp **》**

※掲載内容は1月24日時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」（FD関係）にてご確認ください。